

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【公開番号】特開2012-40024(P2012-40024A)

【公開日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2011-258048(P2011-258048)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	19/00	Z N A
C 0 7 K	16/00	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月16日(2012.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

形態(A)-M-(A')の2つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含むTie-1レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分Aおよび成分A'は各々が、Tie-1を結合し得る単鎖可変フラグメント(scfv)抗体であり、そして、成分Mは、IgGのFcドメインを含むマルチマー化成分であり、該ダイマーは、4つより多くのTie-1レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項2】

AおよびA'が異なるscfvである、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

MがヒトIgG1のFcドメインを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、scfv<sub>2-1G3</sub>-Fc-scfv<sub>1-1F</sub><sub>1-1</sub>(配列番号51)を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、scfv<sub>1-1F11</sub>-Fc-scfv<sub>1-1</sub>F<sub>1-1</sub>(配列番号50)を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

形態(A)-M-(A')の2つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含むTie-1レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分Aは、Tie-1を結合し得る単鎖可変フラグメント(scfv)抗体であり、成分Mは、IgGのFcドメインを含むマルチマー化成分であり、そして、成分A'は、Ang1またはAng2の

フィブリノゲンドメインであり、該ダイマーは、4つより多くのTie-1レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項7】

成分A'がAng1のフィブリノゲンドメインである、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

成分A'がAng2のフィブリノゲンドメインである、請求項6に記載の組成物。

【請求項9】

MがヒトIgG1のFcドメインを含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項10】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、scFv<sub>1-1F11</sub>-Fc-FD1(配列番号52)を含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項11】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、scFv<sub>1-1F11</sub>-Fc-FD2(配列番号53)を含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項12】

形態(A)-M-(A')の2つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含むTie-2レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分Aおよび成分A'は各々が、Tie-2を結合し得る単鎖可変フラグメント(scFv)抗体であり、そして、成分Mは、IgGのFcドメインを含むマルチマー化成分であり、該ダイマーは、4つより多くのTie-2レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項13】

AおよびA'が異なるscFvである、請求項12に記載の組成物。

【請求項14】

MがヒトIgG1のFcドメインを含む、請求項12に記載の組成物。

【請求項15】

前記ダイマーが、各々がscFv<sub>A12A</sub>-Fc-scFv<sub>B2</sub>(配列番号28)を含む2つの融合ポリペプチドから形成される、請求項12に記載の組成物。

【請求項16】

前記ダイマーが、各々がscFv<sub>B2</sub>-Fc-scFv<sub>B2</sub>(配列番号29)を含む2つの融合ポリペプチドから形成される、請求項12に記載の組成物。

【請求項17】

形態(A)-M-(A')の2つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含むTie-2レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分Aは、Tie-2を結合し得る単鎖可変フラグメント(scFv)抗体であり、成分Mは、IgGのFcドメインを含むマルチマー化成分であり、そして、成分A'は、Ang1またはAng2のフィブリノゲンドメインであり、該ダイマーは、4つより多くのTie-2レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項18】

成分A'がAng1のフィブリノゲンドメインである、請求項17に記載の組成物。

【請求項19】

成分A'がAng2のフィブリノゲンドメインである、請求項17に記載の組成物。

【請求項20】

MがヒトIgG1のFcドメインを含む、請求項17に記載の組成物。

【請求項21】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、scFv<sub>B2</sub>-Fc-FD1(配列番号30)を含む、請求項17に記載の組成物。

【請求項22】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、scFv<sub>B2</sub>-Fc-FD2(配列番号31)を含む、請求項17に記載の組成物。